

## サメの加工品開発

宮古支庁農林水産振興課

中 田 祐 二

### 1. 目的

宮古地区ではサメによる口傷被害が平成8年から2年連続して続いており、大きな問題となっている。そうした中で有害水産動物駆除事業が始まりサメの捕獲を開始したが、サメの有効な利用方法がまだ少なく、捕獲しても解体し破棄しているのが現状である。そこでサメの有効な利用方法を開発し、地域の新しい特産品として位置づけ、産業の振興に寄与することを本事業の目的としている。

### 2. 対象

平良市漁協婦人部

### 3. 経過

この事業を始めるにあたり、事業の円滑な実施と幅広い展開を目的として漁村女性活動支援事業推進協議会を設置した。協議会のメンバーとしては平良市水産課下里課長補佐、沖縄県立翔南高等学校新里教諭、平良市漁協婦人部友利部長、宮古農業改良普及センター宮平課長、宮古支庁農林水産振興課長嶺係長を選び、6月23日に平良市漁協で第1回漁村女性活動支援事業推進協議会を開催した。

協議会では本年度の作業日程、講習会の講師の選定等が行われた。

講習会は7月23日に同じく平良市漁協で開催した。講師は沖縄県蒲鉾水産加工品組合の上原広幸参事を招き、主に練り製品の加工方法とサメの加工課程について講義をして頂いた。

練り製品については練り製品の一連の製作過程を紹介していただき、婦人部の持つ機材では

難しいということがわかった。

またサメの加工では、いま現在事業で行っているサメ捕獲では、鮮度保持が不十分であることがわかり今後の課題となった。またサメの加工には周囲に悪臭を伴うので、今後もしサメの加工を行うのであれば十分に気をつけなければならないとのことであった。サメの種類に関してはこちらでとれるイタチザメ以外はほとんどが利用可能であるとのことで、練り製品に関してはピンナガとの相性がとてもよいとのことであった。

今回加工に使ったのはネムリザメ、アナザメと言った近海に生息するサメを用いた。この2種は比較的にアンモニア臭も少ないが、本格的に製品を生産するとなると、この2種では量の捕獲が難しいだろう。

加工品に関しては、今年度はサメの佃煮、サメの薫製、サメのフライを制作した。レシピは別紙のとおりである。

評価としては、サメの薫製、佃煮とも味の点では満足いく結果が得られたが、フライはアンモニア臭がどうしても取れず、満足いく製品は作れなかった。

また佃煮は、数日後にアンモニア臭がしており、これも多少あく抜きを多くしても抑えられるものではないと判断した。

また、今回モズクの2次加工所で加工を行ったが、サメを加工した後に臭いがひどく、大変不評であった。今後大がかりに加工を行った場合、新たに加工所を設置しなくてはならないだろう。

また同時に行われた営漁指導では、婦人部の

メンバーのレベルを図り、漁家経営の基礎を習う事を目的として、水産業中央会前泊豪氏を講師に招き、講義を行った。前泊氏は経営簿の記帳方法、減価償却の方法等を講義した。平行してコンピューターを使っての営漁簿の作成講習会を開催し、ウインドウズコンピューター操作方法、ワープロソフトの基本操作、表計算ソフトの操作方法を指導した。現在、表計算ソフトによる営漁簿の記入に挑戦している。

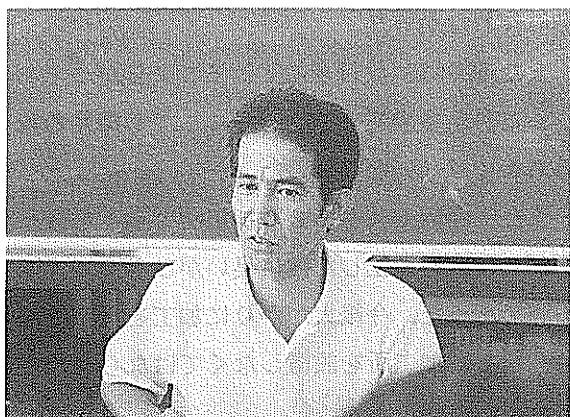
### 所 感

今回行ったものは、婦人部の直売店で販売するサメのフライと土産用の佃煮と薫製の作成を行った。サメのフライに関しては、アンモニア臭がひどく、販売は難しいであろうと判断した。クエン酸等を用いてサメ肉をさらして臭みを抜く工夫を行ったが、取りきれなかった。

佃煮はアンモニア臭もなく、美味であった。



サメ加工についての講習会（平良市漁協）



講師の上原参事

しかし数日後になるとどうしてもアンモニア臭が出てきてしまい、真空パックと加熱だけでは臭いを抑えることができないことがわかった。

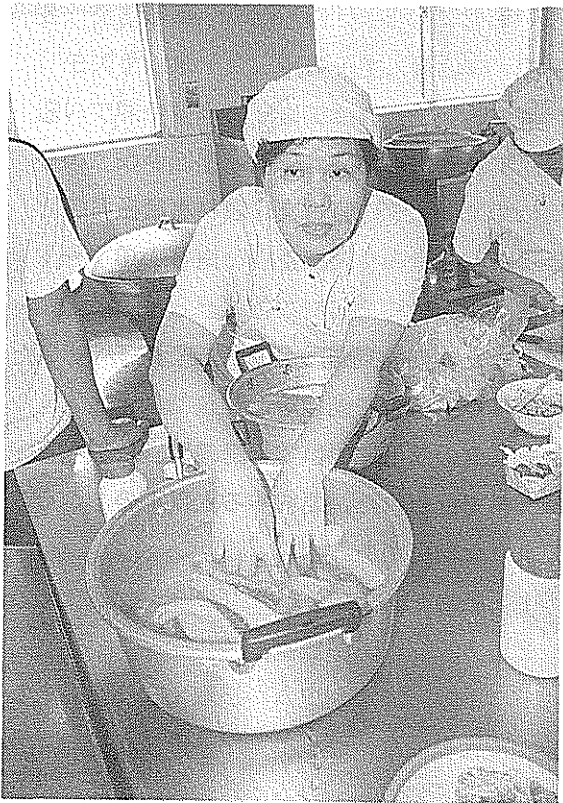
薫製に関しては風味もよく、品質の安定も最もよかったが、現在の所どれぐらい製品が品質を保持できるかはまだわからない。加えて加工するのに時間がかかり大量に作ることもできないのも欠点であった。

また、今回の主目的である有害水産動物駆除事業で大量に水揚げされる、イタチザメは利用価値もほとんどなく、火を通すことができないことも学んだ。これが加工できないとなると、加工事業を行うにあたって最も重要な安価な材料確保が難しくなる。このイタチザメの加工は今後も継続して検討していく必要がある。

また、コンピューターを使っての営漁簿作成の講習は大変好評で、今後も一般課題の中で継続して指導していきたい。



材料のサメ(上からオオメジロザメ、アナザメ、ネムリブカ)



サメのあく抜き作業



制作した加工品（上からフライ、佃煮、南蛮漬け）



営漁簿作成講習会